

『目の前』 作：ポチ子

『目の前』 作…ポチ子

目に見える悲しみだけを嘆いても、

なにも救えない。

目に見えない悲しみに寄り添っても、

意味のないことだ。

どちらも分かっていたほうがいい。

どちらも分からないほうが楽だ。

どちらかを選ばないと、

生きてはいけない。

どちらを選んでも、

どちらも正しいことではない。

救えない話だ。

正解があれば気楽に生きられるから、

どちらかが正しいと思いついて生きていくやつなんか、

腐るほどいる。

あいつらは自分が、

気楽に悩まずに生きていければいいだけさ。

悲しみなどどうでもいいのさ。

人の悲しみなんか。